

「～に対して」と「～にとって」について¹⁾
—日本語学習者の誤用を参考に—

結城 佐織

Confusion between “-nitaishite” and “-nitotte” by
Japanese-language learners

Saori YUKI

Abstract

Confusion between “-nitaishite” and “-nitotte” is often found in papers and presentations by Japanese-language learners.

Zhang Linsheng²⁾ (2001) reported that, in the case of native Chinese speakers, such confusion was due to interference from the native language. However, not only native Chinese speakers but also native English speakers confuse these two expressions. For example, native English speakers usually say, wrongly, “Sono seisaku -wa watashitachi -nitaishite yoi -to omou” instead of “Sono seisaku -wa watashitachi -nitotte yoi -to omou”. “-nitaishite” and “-nitotte” are phrases equivalent to Japanese particles and are similar and complex in their meaning and usage. This similarity and complexity, as well as interference from the native language, can lead to confusion of these two expressions.

By using examples of the confused use of these expressions by Japanese

¹⁾ 本稿は、第三回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム（2013）において発表したものに修正を加え、執筆したものである。

²⁾ 張麟声（2001）

language learners, we focus here on the usage, meaning, status, perspective, and sentence structure of “-nitaishite” and “-nitotte”. We describe differences between these two expressions and discuss learners the points the commonly confuse. We also mention the key points that would enable intermediate or higher-level Japanese language learners to avoid confusing these two expressions.

【キーワード】 領域、選択、除外、視点、待遇

1. はじめに

中級以上の日本語学習者になると、授業中での発表や質疑応答からはじまり、レポートや論文などを書く機会が増える。この際、「～に対して」や「～にとって」という表現の誤用が目立つ。

張麟声（2001）は、中国語では「対」という文字を使い、「～に対して」と「～にとって」の双方の意味を表すことができるため、日本語の使用において誤用してしまうと述べ、中国語母語話者の母語干渉による誤りであるという分析を行っている。しかし、「～に対して」や「～にとって」の誤用は中国語母語話者だけではない。英語母語話者も「その政策は、私たちに対して、良いと思う」という誤用をする。語学学習において、母語干渉の影響は避けられない。しかし、母語干渉以外の理由でも誤用が起きる。

白川他（2001：16）には、「～にとって」は「重大だ、難しい、大切だ」などの評価を表す語が述語になり、そのような評価をもたらす人やもの、出来事が主語になります。この点で、「～に対して」とははっきり区別されます」とある。白川他（2001：16）の解説は、「その政策は、私たちに対して、良いと思う」という誤用に対しては有効である。しかし、Aoki 他（2010：162）にある例文、「政府は国民にとって生活の安全を保障してくれる組織だ」、「政府は国民に対して環境の保護に努力するように呼びかけた」などの違いは説明できない。更に、「政府は国民に対して生活の安全を保障してくれる組織だ」という文も可能である。日本語学習者の誤用は、母語干渉だけでなく、「～に対して」「～にとって」の助詞相当句としての日本語自体の意味・用法の類似と複雑さによって起きるのである。

本研究は、日本語学習者の誤用を参考に「～に対して」と「～にとって」の用法、意味、文構造、視点、待遇面、歴史的側面に注目し、「～に対して」や「～にとって」の類似点や相違点を述べる。また、中級の日本語学習者以上が、どのような点に注意すれば誤用が減少するのかにも言及する。

2. 先行研究

張麟声（2001）は、中国語母語話者の誤用に対し、「中国語では「対」という文字を使い、「～に対して」と「～にとって」という意味を表すため誤用してしまう」と述べている。また白川他（2001：16）に、「中国語や韓国語などを母語とする話者は「に対して」と「にとって」をよく混同します。」とあるように、韓国語母語話者もよく混同する。最近の韓国語母語話者は漢字を十分に習得していない学習者も多く、漢字「対」による誤用であるとは言い難い。さらに、誤用例1)にあるように

- 1) *³⁾ その政策は、私たちに対して⁴⁾、良いと思う。(米)⁵⁾

英語母語話者の「～に対して」と「～にとって」の誤用も目立つ。中国語母語話者、韓国語母語話者、英語後母語話者と母語の異なる学習者での誤用があり「～に対して」と「～にとって」の混同は多く見られるのである。

Soichi Aoki 他（2010：162）では、「While「～にとって」indicates the subject of a decision or evaluation,「～に対して」indicates the object of an appeal.」とし、2)、3)の例文を挙げている。

- 2) 政府は国民にとって生活の安全を保障してくれる組織だ
3) 政府は国民に対して環境の保護に努力するように呼びかけた

白川他（2001：16）には、「「～にとって」は「重大だ、難しい、大切だ」な

³⁾ 「*」は非文、「？」は母語話者によって非文かどうかの判断が分かれる文。

⁴⁾ 下線部筆者

⁵⁾ (米) 英語母語話者、(中) 中国語母語話者

どの評価を表す語が述語になり、そのような評価をもたらす人やもの、出来事が主語になります。この点で、「に対して」とはっきり区別されます。」とある。構文が全く異なるにもかかわらず、日本語学習者はなぜ混同してしまうのだろうか。

3. 「～に対して」と「～にとって」の共通点と相違点

日本語学習者の立場から見ると、「～に対して」と「～にとって」の区別は難しい。これにはいくつかの原因が考えられる。本稿では紙面の都合上、以下の①～③に注目し検討していく。

- ① 文構造の類似点、相違点
- ② 対象の領域に選択肢が複数存在する点
- ③ 視点

3.1 文構造

白川他(2001:16)が指摘しているように、「～に対して」と「～にとって」において、「～にとって」は①評価を表す語が述語になる、②評価をもたらす人やもの、出来事が主語になる、という二点において「～に対して」とは異なる。2)と3)では、いわゆる主語⁶⁾は「政府」であり、見かけ上の構文には大差ない。2)では、「保障してくれる」という評価が述語になり、「政府」という評価をもたらすものが主語に来ている。一方、3)では、「呼びかけた」という動作が述語であり評価ではない。確かにこの例文2)と3)に関して白川他(2001)の指摘は的を得ている。

しかしながら学習者からは、2)の「～にとって」を「～に対して」に交換した場合4)、なぜ非文なのか理解できないという声上がる。

- 4) ? 政府は国民に対して生活の安全を保障してくれる組織だ

⁶⁾ 本稿では便宜上、「A=B」のAを主語と呼ぶ。

学習者の解釈によると、4)の後件は政府というのは「安全を保証してくれる」良い組織である、という良い評価として解釈ができる。これは白川他（2001：16）の分析①に相当する。更に、学習者は政府自身が自分たちの組織をアピールするための発話だとしたならばよいのではないかとする。これは白川他（2001：16）の分析②に相当する。この点で、日本語学習者は白川他（2001：16）においても混乱する。

特に政府自身がアピールしたものだと解釈する場合、文末の「保障してくれる」を5)のように「保障する」とした場合は、かなり許容度が上がる。

5) ? 政府は国民に対して生活の安全を保障する組織だ

「～てくれる」を使用した場合、話者には受益が存在するという点をはっきりする。このため、「～にとって」と話者自身の立場から発話していることを明示する。2)の文構造としては、6)～8)のように「組織」の説明として「国民にとって」と「生活の安全を保障してくれる」が修飾語であり並列関係にある。

6) 政府は【国民にとって】組織だ

7) 政府は【生活の安全を保障してくれる】組織だ

8) 政府は【国民にとって】【生活の安全を保障してくれる】組織だ

一方5)の時、話者の受益は弱まり話者の立場という視点は消え、「組織」の説明として解釈できる。2)と同様の文構造だと仮定してみると、9)～11)のようになる。

9) * 政府は【国民に対して】組織だ

10) 政府は【生活の安全を保障する】組織だ

11) 政府は【国民に対して】【生活の安全を保障する】組織だ

9)が非文であるためこの時点で2)と同様だとは言い難い。9)を12)のよ

うに名詞修飾にすると許容度はやや上がる。しかしながら、14) のように文章全体の許容度が下がる。

- 12) ? 政府は【国民に対する】組織だ
- 13) 政府は【生活の安全を保障する】組織だ
- 14) ? 政府は【国民に対する】【生活の安全を保障する】組織だ

6) ~14) を見る限り、「～に対して」と「～にとって」の文構造は確かに異なる。だが、「～にとって」の部分を「～に対して」に交換した場合、前後の文脈により許容度が上がることがある。文構造のみでは「～に対して」と「～にとって」の異なりを日本語学習者は理解しにくいということがわかる。

しかしながら、15) の「～に対して」の部分を 16) のように「～にとって」に交換したとしても、許容度は上がらない。15) と 16) の違いは、3.2 以降で解説する。

- 15) 政府は国民に対して環境の保護に努力するように呼びかけた
- 16) * 政府は国民にとって環境の保護に努力するように呼びかけた

3.2 「～に対して」の基本概念

次の 18) ~26) は、国立国語研究所「少納言」⁷⁾で「～に対して」を検索した上位 10 例文である (2015 年 9 月 1 日現在)。

- 17) 可申請を昭和 59 年 3 月 30 日に、別件認可申請を同月 31 日にいずれも却下した。これに対して、日本パーライト工業は、同社に対する却下処分の取消しを求めて公害等調整委員会に対 (公害紛争処理白

⁷⁾ 本稿では紙面の都合上、「前文脈」「検索文字列」「後文脈」「タイトル」を載せている。紙面の都合上、例文検索の際の書籍は参考文献に載せていない。詳しくは「少納言」を参照のこと。少納言では、一旦コーパス全体を検索したうえで無作為に 500 件を選んで表示される。検索文字列の前後の文脈は 40 文字前後で表示されている。

書)

- 18) ンピックの開会式で、問題になった口パク少女。その影響なのか、口パクの歌手や演奏者に対して、処罰するらしい。真面目に、考えているみたいだけど、信じられないね？日本のテレビ（Yahoo! ブログ）
- 19) この定理は、一般の弾性体に対しても成立し、ねじりやモーメントによる荷重とその変形に対しても成り立ちます。カスチリアーノの定理は不静定はりにも用いることができるので、たい（よくわかる材料力学の基本）
- 20) のタイプでも重要視されているが、一般都市では「総合的な整備計画」が記されているのに対して、歴史都市では「歴史的遺産の保存」や「建物間の調和」が、新都市では（街路景観の整）
- 21) ガス・ステーションの看板が、白く平たい建物の屋上で、ゆっくりと回転している。太陽に対して一定の角度になるたびに、その看板は、鋭く輝く。左手に持った湯飲みから、圭子は（メイン・テーマ）
- 22) ました。あまり眠らず、あまりしゃべらず、あまり笑わなくなりました。溺愛している娘に対して、不愉快な態度を見せることさえあります。彼は何かを知っているんだと思います。一晚（恐怖病棟）
- 23) にいろいろ、こうやれあやれという情報が入ってきているわけですね、そういった情報に対して、もしか一頭目が入ってくる、出てくるかもしれぬぞという気持ちにならなかったことが（国会会議録）
- 24) を免れた物は、罪をも免れる。正気な所では、むしろ司法等の分野が、日本文化の向上に対して足枷となっていたのかとも想われる。冤罪が怖くて、死刑ができない…、民事訴（Yahoo! ブログ）
- 25) は、汚濁負荷量が軽減され、湖沼の水質改善に寄与することとなるため、土地等の買換えに対して法人税及び所得税の課税の軽減措置が講じられ、移転の促進が図られることとなった。イ（環境白書）
- 26) ータ以外にも、開発したGISアプリケーションを公開することも可能であり、サービスに対しての料金を徴収することもできます。「時空間GIS」上で自社のアプリケーションを公（電子政府の実現に向け

て)

「～に対して」の基本的な構造は、

「A【行為者】がB【被行為者】に対してC【影響】を与える」

である。たとえば17)は、A【日本パーライト工業】がB【別件認可申請を却下したこと】に対してC【取り消し】を与える、18)は、A【誰か】がB【口パク少女】に対してC【処罰】を与える、19) A【定理】がB【変形】に対してC【成り立ち】を与える、となる。視点はAの行為者にある。

行為者が被行為者に対して影響を与える場合の「～に対して」は、行為者の行為の方向性を示している。この方向性を示す助詞として、「二格」がある。益岡他(1992:76-77)には「二格」の用法として9つの用法が挙げられている。このうち、「～に対して」に対応するのは次の①～③の用法である。

①動作の相手を表す用法

27) 鈴木さんは、思い切って高津さんに(／に対して)相談した⁸⁾。

②動作の対象を表す用法

28) 花子は親に(／に対して)泣きついた。

③状態の対象を表す用法

29) 太郎は皆に(／に対して)親切だ。

つまり、「～に対して」は被行為者(行為の対象者)に対して、行為者の動作の対象か、状態の対象であることがわかる。「～に対して」は、行為の単

⁸⁾「鈴木さんは、思い切って高津さんに対して相談した」が多少不自然に感じるのは、述語が「相談した」であるからである。たとえば「進言した」「忠告した」などの表現に変えれば不自然さはなくなるであろう。これは待遇表現上の問題も絡んでいる。4.を参照のこと。

なる方向性ではなく、意図的な働きかけがなければならない。このことは、30)～32)は非文ではないが、行為者の直接的な働きかけのない33)の例文が非文であることから言える。

- 30) 彼に向って言った
- 31) 彼に対して言った
- 32) 太陽に向かって走った
- 33) ×太陽に対して走った

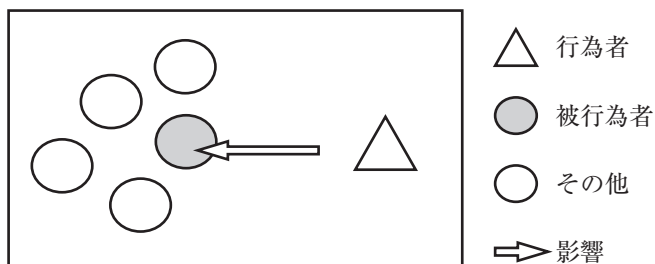
さらに、「～に対して」は、34)のように太郎でもない、一郎でもない、幸子でもない、花子だというように、ある領域には複数の選択肢が存在し、その領域の中から行為者が意図的に被行為者を選択したものである。行為者が被行為者に与える影響力は動作性を持つ。普通、被行為者が単数の場合は用いない。

- 34) 先生は、太郎にではなく、花子に対して言っていたのだ（作）⁹⁾

つまり、「～に対して」は言語表現の上ではある領域内に選択肢が複数あると明示していなくとも、言外の意識には選択肢が複数ある。34)に同じく19)の場合は、定理が①今まで述べてきたものに成立する、②一般の弾性体でも成立するという複数の可能性を示し、20)では①一般都市、②歴史都市と複数のものが存在することがわかる。また、21)のように複数であることは明示されていないが、他の対象物ではなく太陽、というように他の可能性を排除し、太陽という対象のみを選択している。但し、35)のいかなる人のように被行為者が選択肢全員、あるいは多数を含む場合は、複数の候補を排除し被行為者のみを選択しているとは言えないが、非文にはならない。

- 35) 僕がいかなる人に対してもかかる力を持っているというのではない

⁹⁾（作）は筆者作例。



影響力の動作性。
ある領域の複数の選択肢の中から、行為者が意図的に選択したもの。
普通、対象が単数の場合は用いない。
視点は△の行為者にある。

図1 「～に対して」の基本概念

のです。ただあなたにに対してです。(有島武郎『或る女』)(用)¹⁰⁾

以上、3.2の内容を図示すると、図1のようになる。

3.3 「～にとって」の基本概念

次の36)～45)は、国立国語研究所「少納言」により「～にとって」を検索した上位10例文である(2015年9月1日現在)。

- 36) るのも恐れ多いような感じのものであった。尊貴の美女を犯すと言うのは、凡ゆる男性ににとって最もスリリングな魅力的行為の筈であるが、一十郎はお蘭に対して、犯すなどとは全く考(一十郎とお蘭さま)
- 37) くなるのは当然というべきか。ともかく、近くに予備校のない、地方の公立高校の生徒ににとって、こうした参考書が大きな武器になることはいうまでもない。学校の勉強がそれほどあ(公立小中高から東大に入る本)

¹⁰⁾ (用) は、「用例.jp」からの引用。

- 38) が空襲を受けるようになると警報を聞くためにラジオが必要になる。戦時下に生きる国民にとってラジオは必需品となった。(5) テレビ開始のときは非常に様相を異にする（昭和文文化）
- 39) 。Qさんは中国の人だからできたんだと言う人があるかも知れませんが、台湾生まれの私にとって、中国は皆さんと同じように異国なんです。知らない異国だからこそ日本でも中国でも自（君ならどうする？ 中国に行きますか、日本に残りますか
- 40) なるのだ。おまけに、お酒には食欲を刺激する作用もあるため、出っ腹を克服したい人にとっては、やはり天敵。そこで、飲む前に軽く食事を摂っておくといい。そうすれば、飲酒時（お腹を凹ませる1日15分スロートレーニング）
- 41) おいて、アダムのわき腹から生まれ出るエヴァ〔227 図〕が、当時シエナの彫刻家たちにとって親しいものであったネレイデスの石棺に靈感を得たものであることを指摘した。彼女の小（ザ・ヌード）
- 42) たところを、つかまえられてしまったのだ—を救出する。屋根の上という異次元は、少年にとっては勇気を発揮する冒険のための空間であっても、少女にとっては、足を踏み入れてはなら（文学の子どもたち）
- 43) から。自分で、あと二時間くらいベッドにしようとするほうが、きみのプライドとエゴにとってもずっと楽なんじゃないかい」二人は肉体的にはまったく互角であり、イヴは自分たち（復讐は聖母の前で）
- 44) 掛けられた「観玄虚」の大軸を、私は懐しさと尊敬の眼で長いこと眺めていた。私ひとりにとっては、この書がむしろ訪問の目的となっていた。気負いも気取りも癖もなく、三つの大字が（昭和文学全集第17巻）
- 45) ろうと同じです」しかし、純然たる日本の会社とボスが外国人の会社と、どちらが社員にとって働きやすいかというのは、その人が育った環境によって大きく違って来る。若いサラリー（ウチの社長は外国人）

「～にとって」の基本的な構文は、

「A【状態】はB【中心】にとってC【他と異なる状態】だ」

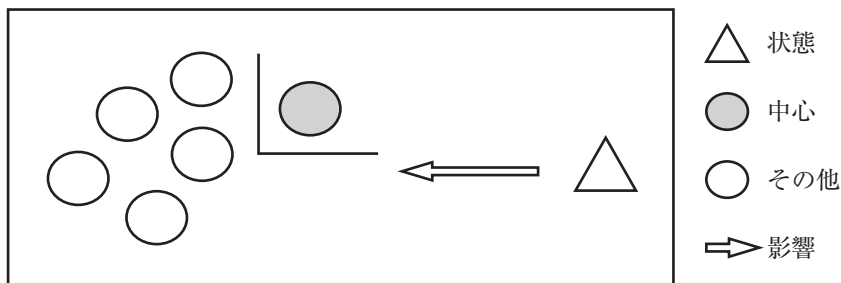
である。例えば、36) は、A【既存の美女を犯すという状態】はB【男性】にとって【魅力的な行為のはず】だ、37) は、A【公立高校の生徒】にとってB【参考書】はC【武器】だ、38) は、B【戦時中の国民】にとって、A【ラジオ】はC【必需品】だ、となる。視点はB【中心】にある。

ここで注目したいことが二点ある。一つ目は、「～にとって」の最大の特徴は、「～にとって」の視点を持つ者が他の選択肢を排除し、自分は他と異なる存在、考え方であるという主張を行う際に用いるという点である。

例えば、皆に嫌われていたA君がいたとしよう。自分以外の人間がA君のことを悪く言っていた。しかし自分一人だけはA君のことを悪く思っていないという場面で自分の意見を述べる場合、46) のような発言になる。

46) 皆さんはそれようにおっしゃいますが、私にとってA君は素晴らしい人です。(作)

46) の時、A君のことを悪く思っていない人物が、会話の領域内に存在する割合はかなり低くなければならない。もしA君を悪く思っていない人物が多数派の場合、46) のように「～にとって」を使用した発言はできず、「私もA君は良い人だと思う」となる。つまり「～にとって」は、A【状態】とB【中心】の特別な関係性を示すものであり、他の複数とは価値を同じにしないことが前提となる。他の領域に存在しているものとは一線を画すること、「～にとって」で中心となる人物や物、状態が自ら「(この状況は)皆はそうかもしれないが、私は違う」という意識で他を排除し「～にとって」を使用するのである。このある領域に存在する中心の人物や物、状態は、「～に対して」と同様に言語に表示されるとは限らない。但し、話者の言外の意識の中には、他者の存在がなければならない。



影響力の状態性。

ある領域の価値観とは異なり、中心が除外した状態。

1対複数。複数のものとは基本的には価値基準が異なる。

視点は○の中心にある。

図2 「～にとって」の基本概念

二つ目は、「～にとって」が文頭¹¹⁾にくることが多い点である。これは注目点の一つ目の除外の結果、領域内の他の誰でもない「私」の評価であるということを強調しているためである。

39)では「日本人の皆さんとは異なり私は台湾生まれである」と中心の人物、つまり話者である「私」を「日本人の集団」から除外し、強調するために文頭に「～にとって」が出現している。40)ではある領域の構成が「克服したい人」と「克服したくない人」と2つであるため、対立しているという構図になる。但し、実際は「克服したい人」と「克服したくない人」、その言外に「飲酒に全く関係ない人」が存在することも念頭に置かなければならない。

以上3.3の内容を纏めると、図2のようになる。

3.4 日本語学習者の視点

次の47)～49)は、日本語学習者の誤用例文である。

47) その政策は、私たちに対して、良いと思う。(米)

¹¹⁾ 複文、重文の後件を含む。

48) 子どもに対してよくないと思います。(米)

49) 進学など理由で引越しする私費留学生に対して、家賃、敷金、礼金などに経済的な負担となる。(中)

「～に対して」と「～にとって」は、①文構造が似ている(3.1)、②行為や働きかけがある領域の複数を対象としており、基本的にはその領域の一つ、あるいは少数派に対して視点が向けられるという点が類似している(3.2、3.3)、③視点が異なる(3.2、3.3)。この三つの点から、日本語学習者にとっては「～に対して」と「～にとって」の区別は難しいのである。

日本語学習者は、いわゆる「やりもらい」など、②や③の視点を習得するまでに時間がかかり、また上級になっても間違えるという傾向がある。3.3で述べたように、「～に対して」と「～にとって」は文構造が類似していると解釈される分、視点の異なりを判断することが難しい。しかしながら、逆に言えば、この視点の異なりを理解すれば「～に対して」と「～にとって」の習得は容易になってくる。筆者の経験上、この視点の異なりを先行研究等のように文構造や論理で理解させるのには時間がかかる。だが、日本語学習者に対し図1や図2のように図示した場合、「～に対して」と「～にとって」は、俯瞰してみた構図は類似しているが、構文上の視点の位置が異なるという点がイメージで説明でき、日本語学習者も理解しやすいようである。

誤用をしてしまう日本語学習者は、「～に対して」と「～にとって」は、ある領域の集団に対して、ある力(行為者または状態)が何らかの影響を及ぼし、その集団の中にその影響を受けるもの(被行為者または中心)が選択されて存在している、という同じ構図として捉えている。つまり、図1と図2の○△⇒といった記号しか見えていない状態にある場合が多い。日本語教育上の核となるのは、3.3で述べた「～にとって」の他を除外する性質、他とは関係が異なるという点を強調することである。除外性の理解は「～にとって」を使う場面では「～に対して」に入れ替えることができないと理解でき、日本語学習者の誤用は格段に減っていく。

白川他(2001:16)が指摘しているように、「～にとって」の後件には評価がくる。47)や48)のように後件が評価であると判断しやすいものであ

れば問題ない。しかしながら49)、あるいは更に複雑な文章になってくると、日本語学習者にとっては自分が発話しようとしている内容が評価と言えるのかを検証しなければならない。そしてその検証結果が日本語母語話者とは異なるとして非文になってしまうということがある。一方、図1と図2を使用し、選択と除外を解説した場合は日本語学習者の混乱は最小限に抑えられる。但し、指導面に関しては筆者の経験に基づくものであり、今後は詳細な検証が必要である。

4. 待遇面

「～に対して」は「～にとって」ともに、待遇面での注意が必要である。3.2で述べたように、「～に対して」はある領域の複数の選択肢の中から、行為者が意図的に選択する際に用いられる。このため、選択権・主導権が行為者（話者）にあるという言外の認識を含んでいる。話者が目下である場合、目上の者に対して主導権を持つという状況が待遇的には非礼であると解釈されかねない（50）、51）。

50) ? 私たちは○○先生に対して、韓国ドラマについてお話になっていただけませんかとお願いました。(米)

51) ? 先生に対してお礼を言った。(作)

目上から目下には使いやすいという面を持ち、目下から目上の場合、「批難、苦情、要求」などの強い行為を示す（52）、53）、54）。

52) 先生に対して文句を言った。(作)

53) 部下に対して礼を言った。(作)

54) 部下に対して文句を言った。(作)

55) 花子は親に対して殴りかかった。 cf. *花子は親に対して泣きついた。

また、上下関係がない場合でも、行為によっては非文となる。56) の場合、

鈴木さんが高津さんに相談し、高津さんは相談に乗ってあげる立場にあるので高津さんの方が問題を解決する能力があるとして上位に存在することになる。56) のように話者に選択権のある「～に対して」を使用すると、関係性に混乱が生じ非文となる。

56) *鈴木さんは、思い切って高津さんに対して相談した。

しかしながら日本語学習者には待遇面の意識がなく、ある領域から被行為者を選択したとして、56) のような発話を行う。文型としての学習だけでなく、待遇面での指導も必要である。

57) においては、結婚を申し込んだ僕が彼女よりも身分や能力などの点で上位に位置している場合には問題がない。しかし、僕と彼女が対等かあるいは彼女の方が何らかの力が上位にあった場合、僕と彼女の関係に問題が生じるだろう。

57) ?僕は彼女に対して結婚を申し込んだ。(作)

「～にとって」の待遇面を見てみよう。3.3で「～にとって」はある領域から除外すると述べた。例えば46) では自分の意見を述べているだけではあるが、領域内に存在している人物を意図的に除外しているため、領域内の人物に対して強い反対意見を述べていると受け取られることがある。日本語学習者の中には、「私にとって」を使用し自分の意見・立場を述べただけであるのに、その後の授業やコミュニケーションに支障が出たということもある。「～にとって」は相手を批判・非難することがあるという待遇面に留意しなければならない。

5. 歴史的側面

日本語学習者のいわゆる「誤用」は、歴史的な言語の変化を反映している場合がある。現代日本語では誤用と判断される文章であっても、時代が変われば誤用ではない場合がある。

58) それが今の藤吉郎に対してはなによりのご馳走であった（司馬遼太郎『国取り物語』）

59) 不思議なことに、いつもあんなに私に対して魅力のある顔が、今夜は実につまらなく、下らないものに思えるのでした。（谷崎潤一郎『知人の愛』）

平成の日本語においては、58) と 59) は誤用であると判断され、「～にとって」と訂正されるであろう。だが当然のことながら、司馬遼太郎や谷崎純一郎の時代においては 58) や 59) は誤用ではない。更に、平成の日本語でも明治時代のような「～に対して」「～にとって」の使用は残っている。明治時代の文学を専門とする学生が例文 58) や 59) のような日本語を提示してきた場合、はたしてこれを単純な誤用と言えるであろうか。58) や 59) のように一見日本語学習者の誤用のように見えても、実は言語の歴史的変化を表していることもある。日本語学習者自身の専門の言語干渉があるため、単純な誤用とは決めつけず、現在の日本語では誤用とされるが明治時代では誤用ではなかったなどと、日本語学習者に通時的な言語変化について解説する必要があるということも忘れてはならないのである。

以上、3.～5. を纏めると表1のようになる。

表1 「～に対して」と「～にとって」のまとめ

	【～に対して】	【～にとって】
文構造	類似性あり	
構文	A【行為者】がB【被行為者】に対してC【影響】を与える	A【状態】はB【中心】にとってC【他と異なる状態】だ
述語	積極的な行為、主張	評価、内容説明
影響力	動作性	状態性
言外	直接的（選択）	間接的（除外）
待遇面	注意が必要、強い行為	相手を非難する場合あり
歴史面	変化あり	

6. 終わりに

本研究は、日本語学習者の誤用を参考にし、「～に対して」「～にとって」の用法、意味、文構造、視点、待遇面、歴史的側面に注目し、「～に対して」や「～にとって」の類似点と相違点を述べた。また、中級以上の日本語学習者がどのような点に注意し、指導を行えば誤用が減少するのかにも言及した。

今後は、待遇表現としての使い方、「に対して」と「にとって」の歴史的領域の変化、学習順に関連性があるのかなどについて更に研究を進めていきたいと考えている。

【参考文献】

- 白川博之監修、庵功雄、高梨信乃、中西久実子、山田敏弘著（2001）『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』、スリーエーネットワーク
- 益岡隆志、田窪行則共著（1992）『基礎日本語文法 一改訂版一』、くろしお出版
- 張麟声（2001）『日本語教育のための誤用分析 中国語母語話者の母語干渉 20 例』、スリーエーネットワーク
- 北京・对外経済貿易大学、北京・商務印書館、小学館共同編集（1987）『日中辞典』、小学館
- Soichi Aoki, Hiroko Otake, Tsukasa Sato（2010）“Integrated Japanese Advanced Course” Volume One, Inter-University Center for Japanese Language Studies.

【引用 HP】

- 国立国語研究所「KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス」少納言（2015年9月1日現在）
http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/search_form
- JapanKnowledge（2012.9.30 現在）<http://www.jkn21.com/top/corpdisplay>
- 人民網日本語版、中日対訳（2012.9.30 現在）
<http://j.people.com.cn/97082/index.html>
- 用例.jp（2015.9.16 現在）<http://yourei.jp/>